

(2) 農作物が食卓にとどくまで

農家でとれた野菜や果物は、いろいろなどころを通してわたしたちの食卓にとどきます。

その多くは、つくっている農家からJA(農業協同組合)に集められ、おろし売り市場を通して、スーパーマーケットや八百屋で売られ、わたしたちの食卓にならびます。

また、最近では、インターネットやパンフレットで注文を受け、宅配を使って家までとどける方法や、農産物直売所でとれたものをそのまま売する方法がふえてきています。

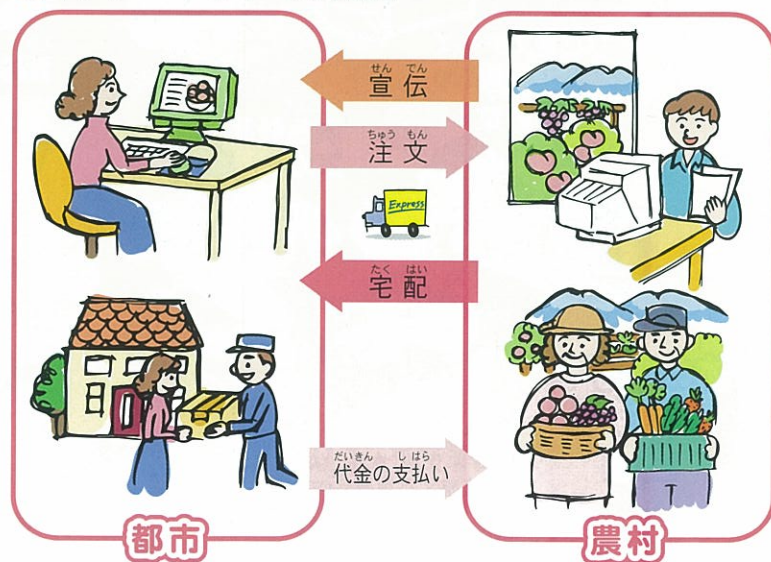
●野菜や果物がとどくまで



●農産物直売所での販売



●インターネットでの販売

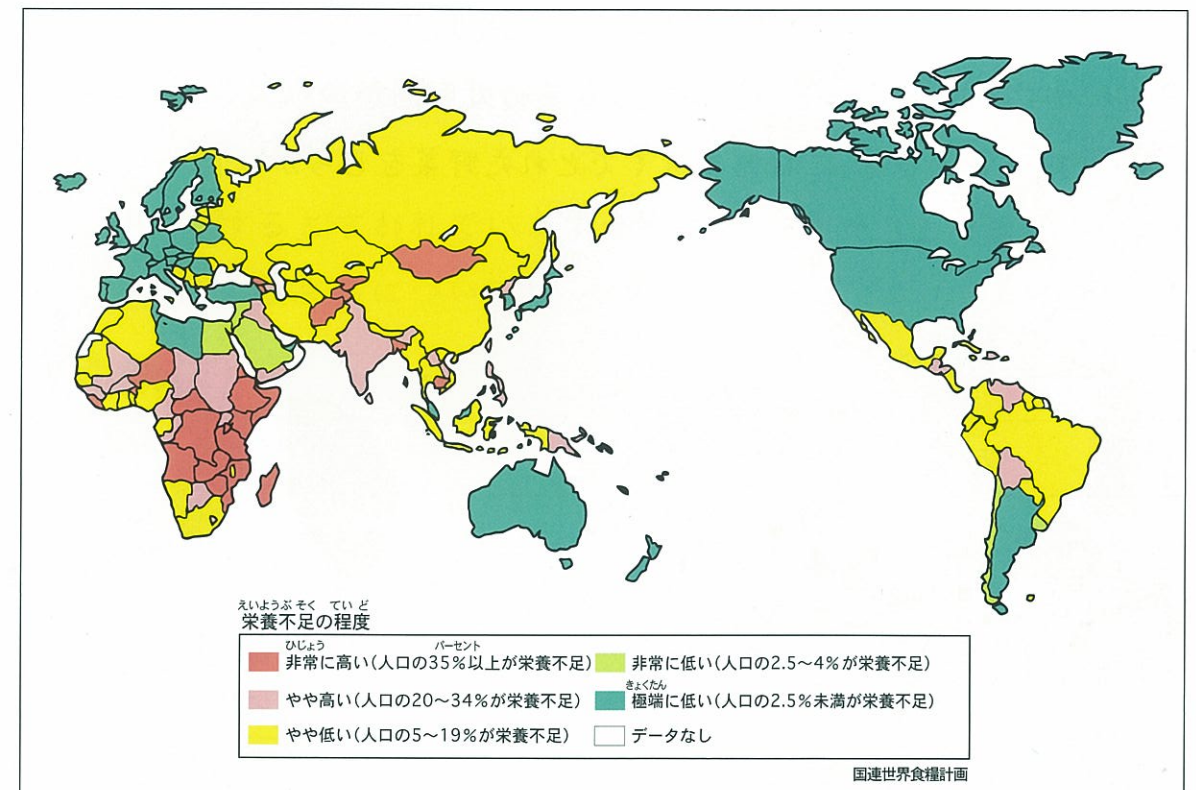


(3) 世界の食料生産

1960年に30億人だった世界の人口は、年々ふえて2004年には64億人と約40年間で2倍以上となり、必要な食料の量もふえ続けています。現在、世界には約8億人が食事を十分にとれず、栄養不足に苦しんでいます。

世界で農業に使われている農地は、これ以上ふやすことができないと考えられています。また、地球環境の変化で水が不足するなど、将来は世界各地で食料が足りなくなることも心配されています。

●世界各国の栄養不足に苦しむ人の割合(1997~1999年)



「いただきます」「ごちそうさま」を言うときには、お米や野菜を育ててくれた人たち、自然のめぐみや食事をつくってくれた人たちのことを思いうかべてみよう!

